

9月5日

国交副大臣就任の国場氏

自民党的国場幸之助衆院議員(比例九州)が内閣改造に伴う人事で15日、国土交通副大臣に就任しました。国場氏をめぐっては、2017年の衆院選期間中に自民が代表を務める自民党支部が沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設関連工事を受注した業者から献金を受け取った問題など基地関連工事の業者からの献金が複数報じられていました。工事を所管する省庁の要職に、いわ

過去に新基地業者から献金

ば「利害関係者」を起用する異常な人事です。

国場氏は、辺野古の米軍新基地建設をはじめ米軍・自衛隊の基地関連工事を数多く受注している企業、国場組(同県所在)の創業家出⾝でもあります。

国場氏のよつな人物

としている企業、国場組(同県所在)の創業家出⾝でもあります。

決定にも関わる強力な

政府は今後、新基地建設の埋め立て区域北側の大浦湾に存在する広大な軟弱地盤の改良工事を狙っています。同工事は水面下90㍍に達する軟弱地盤や膨大な数に及ぶ作業船確保

などの問題を抱えていて、工事がさらにつれて工費はさらに大幅に膨らむ恐れがあり、巨大な利権を生むのは明らかです。

国場氏の就任させたことは、新基地建設反対の沖縄県民の民意をざらに踏みにじるところながらかねません。